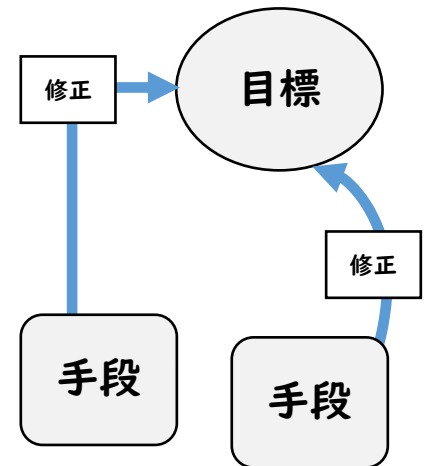


## Répondez des questions mathématiques.

Bonjour! カメルーンからでまちです。日本は新年度のスタートですね。せっかくの変わり目なので、目標を決めて取り組む人が多いと思います。その際に気を付けたいのは、目標を達成するための手段です。

私は今年、フランス語の検定試験に挑戦する、という目標を立てています。そのための手段として、「1日〇ページ問題を解く」を挙げました。しかし、ある日ページ数をこなすことだけにこだわり、内容理解が不十分で、当初の目標（検定試験）が抜けていたことに気がきました。

「手段」はあくまでも「目標を達成するという目的」のためにあります。「〇時間勉強する」などの「一度決めた手段」にこだわらず、手段が変わっても目標に向かっている手ごたえがあれば、どんどん変えていっていいと思います。目標を確認しながら進むことが大事ですね。



### ◇カメルーンの子どもたちのすごいところ。

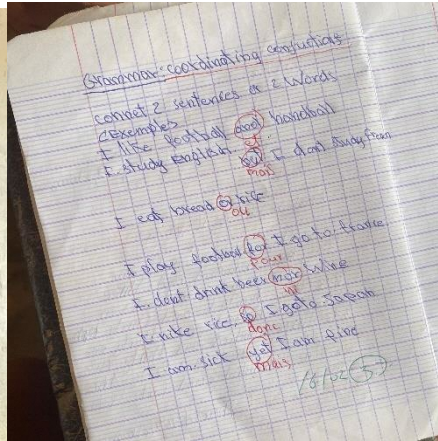
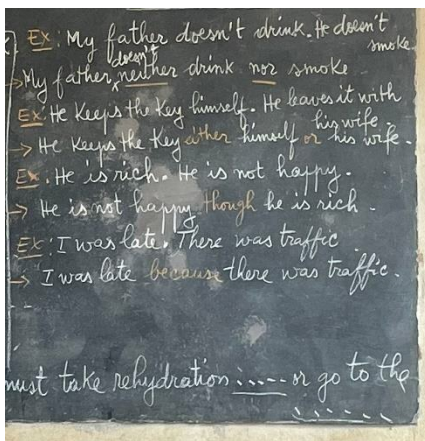
さて、カメルーンの子どもたちと授業をやっていく中で、日本とは違う驚くべきことがたくさんあります。今回はそのうちのいくつかを紹介します。



まず、視力がとても良いです。教室によっては黒板が古く、はげているところもあり文字が読みづらいです。上の写真の黒板には Listening と書いてありますが、書いた私でさえ教室後方では見えません。当然、見えづらくて黒板前まで移動する子もいますが、ほとんどの子どもたちには見えているようです。ただ、よく「字が薄い」と私は子どもたちから小言を受けています。

また、聴力も高いです。小さな声でも全員が反応できます。先生も確実に声を拾います。毎回発表者のそばまで近づいている私とはレベルが違います。正直うらやましいです。





さらに、子どもたちは小1からブロック体と筆記体を書くことができます。教科書の文字は日本同様ブロック体ですが、カメルーンでは「便利だから」という理由で筆記体をよく使います。低学年の先生は両方とも書きますが、学年が上がると筆記体だけです。子どもも同様に筆記体を書く子が多いです。ブロック体は主に英語の指導に使います。

◇算数の問題に挑戦。 カメルーンと日本の学習内容は少し違う？

ではここで、算数の問題を一緒にやってみましょう。単位の書き換えですね。

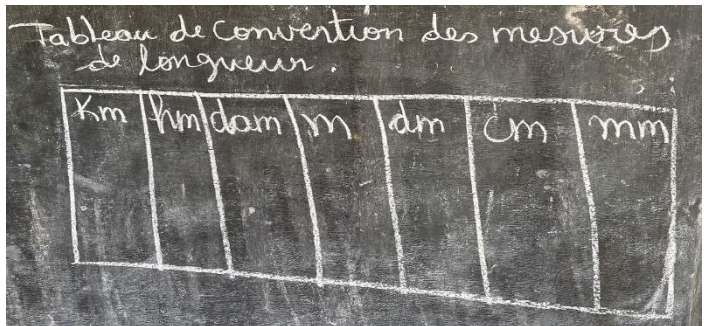
問1：次の数値を指定された単位に書き換えなさい。

① 1km → ( ) m                      ② 10mm → ( ) cm

③ 100mm → ( ) dm                    ④ 10hm → ( ) dam

①、②はともかく、③、④で手が止まる人が多いはずですが、できた人はすごいです。これはほとんどの日本の小学校では勉強していません。カメルーンで学習する距離の単位は以下の通りです。

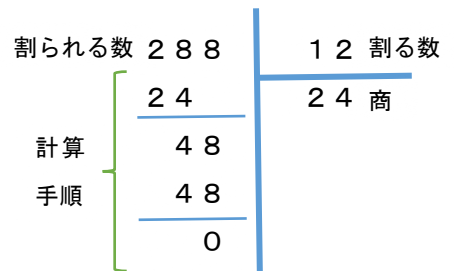
- 1km=10hm (ヘクトメートル)
- 1hm=10dam (デカメートル)
- 1dam=10m
- 1m=10dm (デシメートル)
- 1dm=10cm
- 1cm=1mm



各桁に名称があったとは驚きですね。子どもたちは、上の写真のような表をいつもミニ黒板に書き、枠に当てはめながら答えを考えています。①の場合だと、kmの枠に1と書き、mまで0を書いて答えを求めます。②だと、一の位(0)をmmの枠に書き、次の位(1)を左隣の枠に書きます。では、③、④も同様に解いてみましょう。答えは下に書いておきます。では、次の問題です。

問2：次の計算をしなさい。 ○ 288 : 12

比の問題に見えますが、これは割り算です。カメルーンでは「:」は割り算を表します。この答えを導く際、子どもたちは筆算を使います。カメルーンの割り算の筆算は少し日本と異なり、右図のように行います。その他(足し算、引き算、かけ算)の筆算は日本のやり方と同じです。日本の方法と比べてみて、どちらがやりやすそうでしょうか。



同じ算数という教科ですが、学習内容をよく見てみると違いがありますね。筆記体がメインで用いられるように、これもまたカメルーンの文化のひとつかもしれませんね。それでは、A bientôt !

問1答 ① 1000m ② 1cm ③ 1dm ④ 100dam